



平成 30 年 12 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社ディー・エル・イー
代 表 者 名 代表取締役 権木 隆太
(コード番号：3686 東証第一部)
問 合 せ 先 執行役員 高倉 喜仁
(TEL. 03-3221-3980)

(訂正) 「平成 31 年 6 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の
一部訂正について

当社は、平成 30 年 12 月 3 日に開示いたしました「平成 31 年 6 月期 第 1 四半期決算
短信〔日本基準〕(連結)」について、下記のとおり一部訂正がありましたのでお知らせい
たします。

記

1. 訂正の内容と理由

「平成 31 年 6 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の提出後に、記載内
容の一部に誤りがあることが判明しましたので、これを訂正いたします。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

添付資料 3 ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報

(訂正前)

(記載なし)

(訂正後)

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は継続して営業損失及び当期純損失を計上し、継続企業の前提に重要な
疑義を生じさせるような状況が存在しておりますが、必要な資金枠を確保し、資
金面に支障はないと判断しております。また、当社グループは、当第 1 四半期連
結累計期間において、112,108千円の営業利益を計上しております。

以下に示す課題への対処を的確に行うことにより業績黒字化を達成するよう

に、当該重要事象が早期に解消されるよう取り組んでまいります。

以上より、継続企業的前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

① ソーシャル・キャラクター・マーケティング・サービスの強化

当社保有IPであるソーシャル・キャラクターを活用した広告・マーケティングプラン等の企画提案及びテレビコマーシャルやインターネット動画広告等のデジタルコンテンツ制作等を提供し、主に広告・マーケティング収入を得ることを目的としたソーシャル・キャラクター・マーケティング・サービスは、当社において売上総利益率が高く、過年度より安定的な収益の基盤となっております。

そのため、当社は、当該事業を強化していくことで、安定した収益獲得を目指してまいります。

具体的には、当社の主要IPである「秘密結社 鷹の爪」を中心とした自社IPの提案の実施、提案件数の増加を目的とした外部機関の活用等の施策を講じてまいります。

② 当社保有IPのIP価値向上

上記①に記載のとおり、ソーシャル・キャラクター・マーケティング・サービスを強化していくためには、当社保有のIP価値向上が必要不可欠であると判断しております。

そのため、当社は、当社保有IPの価値向上に努め、安定した収益獲得を目指してまいります。

具体的には、SNS等での露出及び過去のテレビシリーズの配信等を通じたメディアへの露出機会を増加するための施策を講じてまいります。また、これにもなうライセンス収入の獲得も、安定した収益基盤の構築へ寄与するものと考えております。

③ ブランドとのシナジー創出

当社グループが保有する「TOKYO GIRLS COLLECTION」、経営参画する「amadana」等のブランドとの協業を推進し、シナジー効果を創出することにより、収益の拡大に努めまいります。

具体的には当社の強みであるプロデュース力を活かし、株式会社W TOKYO及び株式会社アマダナ総合研究所と連携し、積極的な営業推進、新規ビジネスの展開等の施策を講じてまいります。

④ 売上原価、販売費及び一般管理費の削減

当社は、当社事業の強みであるプロデュース力及びクリエイティブを確保した上で、引き続き、外注費等の売上原価、販売費及び一般管理費の削減に努め、収益性の改善に注力してまいります。

以 上